

# 松澤宥と九つの柱

九相の未来 - パーリー・ニルヴァーナに向かって  
 "YUTAKA MATSUZAWA and NINE PILLARS"  
 The Future of Nine Aspects : Towards the Parinirvana

本展覧会では、観念美術の創始者として世界的に著名な松澤宥(1922年長野県生まれ)と彼の考えを共有する作家の作品を展示いたします。1988年に発表した「量子芸術宣言」で、松澤は、次のように述べています。「この芸術〔量子芸術〕は遂に概念芸術の停滞を突破しはるかに進化させるべきものであり、N・チョムスキーの云う新しい人類の遺伝形質を獲得しはじめた稀な芸術家(科学者など)がその創出、推進をになう可能性をもつ芸術である。」

このように、美術作家の枠を超えて、様々な独創的な思考を結集し、未来に発信しようという考えは、1960年代はじめ、つまり、松澤が観念芸術を創出する少し前にすでにその活動の中にあられます。この年、美術作家以外の人々も含めた会合を設け、「暗黒星雲計画」というプロジェクトを試みようとしたのです。この計画が1999年に再開されたのは、「1999年の人類消滅の為の発端と2002年の真の発端が間近であるからである(量子芸術公案一)」という、この作家独特の世界観、人間観に基づいてのことです。2002年、松澤は9人の芸術家、科学者を選び、翌年、彼らによるメッセージ集「九つの柱」を出版しました。本展覧会では、この「九つの柱」に、1970年代から松澤とグループ活動を行っていた作家の作品を加えています。ニルヴァーナ(涅槃の意)と称される作家たちの中からパーリー・ニルヴァーナ(絶対的涅槃)に発展する人たちのいわば9の柱です。この2つの「9」が乗算され、あらたな思想形成に発展することが望まれているのです。本展覧会によって、出品作家のメッセージと芸術のひとつの可能性に接していただければ幸いです。

■オープニングイベント12/18(土)  
 ■クロージングイベント1/23(日)

パフォーマンス 午後1時00分～

・赤土類 「舞 為」  
 ・小林起一 「そば打ち」  
 ・水上旬 「奏捺の儀」

■同時開催

収蔵作品展2004-III 松澤宥作品&松澤宥キュレーション作品展「消滅と未来と」  
 2004年12月18日[土]-2005年3月21日[月・休]

## 広島市現代美術館 Hiroshima City Museum of Contemporary Art



### ■交通案内

- ・広島駅から  
 路面電車 5番「広島港」行き→「比治山下」下車、約500m  
 バス ①広島バス(26-1番系統)「旭町」行き  
 ②広電バス(5番系統)「大学病院」行き  
 ③広島バス(31番系統)「県病院」行き  
 →「段原中央」下車、動く歩道比治山スカイウォーク経由約700m  
 タクシー 約10分
- ・紙屋町(バスセンター)近辺から  
 バス 紙屋町(県庁前)バス停  
 広島バス(23-1番系統)「大学病院」行き(比治山トンネル経由)  
 →「段原中央」下車、動く歩道比治山スカイウォーク経由約550m
- ・八丁堀から  
 バス 八丁堀(天満屋前)バス停  
 ①広島バス(23-1番系統)「大学病院」行き(比治山トンネル経由)  
 ②広電バス(12番系統)「旭町」行き  
 →「段原中央」下車、動く歩道比治山スカイウォーク経由約550m

主催/広島市現代美術館

「松澤宥と九つの柱」BOXアート実行委員会

休館日/月曜日 ただし1月10日は開館、翌日の1月11日が休館  
 年末年始(12月29日～1月3日)

会場/広島市現代美術館ミュージアム・スタジオ

助成/野村国際文化財団

協賛/(有)アートルーム・アバン

協力/ギャラリーPara GLOBE

カスヤの森現代美術館

ギャラリー360°

ペパーランド

〒732-0815 広島市南区比治山公園1番1号 電話082-264-1121  
<http://www.hcmca.cf.city.hiroshima.jp/>

design / Paradigm Shift